

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 資生堂

コード番号 4911 URL <http://www.shiseido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長

(氏名) 前田 新造

問合せ先責任者 (役職名) IR部長

(氏名) 斉藤 幸博

TEL 03-3572-5111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	139,686	△14.9	2,108	△82.8	3,030	△78.5	4,323	△57.8
21年3月期第1四半期	164,107	—	12,229	—	14,069	—	10,255	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	10.84	10.83
21年3月期第1四半期	25.37	25.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	582,235	348,172	57.0	835.09
21年3月期	606,568	351,951	55.6	839.89

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 331,946百万円 21年3月期 337,224百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	315,000	△12.4	20,000	△41.0	21,000	△42.2	14,000	△30.3	35.22
連結累計期間	650,000	△5.8	50,000	0.2	51,000	△2.0	30,000	54.9	75.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第1四半期	410,000,000株	21年3月期	410,000,000株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	12,500,171株	21年3月期	8,489,386株
-----------	-------------	-------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第1四半期	398,820,136株	21年3月期第1四半期	404,261,265株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、資生堂の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確実な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

【業績の概要】

(百万円)

		2010/3 期 第1 四半期	2009/3 期 第1 四半期	増減	増減率
売上高	国内化粧品	90,429	96,172	△5,743	△6.0 %
	海外化粧品	46,860	63,213	△16,352	△25.9 %
	その他	2,396	4,721	△2,325	△49.3 %
	合計	139,686	164,107	△24,421	△14.9 %

国内売上高	92,698	100,678	△7,979	△7.9 %
海外売上高	46,988	63,429	△16,441	△25.9 %

営業利益	2,108	12,229	△10,120	△82.8 %
経常利益	3,030	14,069	△11,039	△78.5 %
四半期純利益	4,323	10,255	△5,931	△57.8 %

当第1四半期(平成21年4月1日から平成21年6月30日までの3ヵ月累計)は、消費マインドの冷え込みが継続し、国内化粧品の市場環境は厳しいものとなりました。海外では(海外子会社は平成21年1月1日から平成21年3月31日までの3ヵ月累計)、欧米の化粧品市場が景気減退の影響を受けたことから、全体として低調に推移しました。

こうした中、当社グループでは経営ビジョンである“日本をオリジンとしアジアを代表するグローバルプレイヤー”をめざし、“すべての活動の質を高める”3ヵ年計画を推進しています。2009年度は、厳しい市場環境が続くことを想定し、より一層の峻別と集中を進めて市場における競争力と収益性の向上を図っています。

当第1四半期の連結売上高は、前年同四半期に比べ14.9%減収の139,686百万円となりました。国内化粧品事業においては、引き続き消費マインドが冷え込む中で競争激化と小売業による在庫調整の影響を受けたことから、事業全体の売上高は前年同四半期を下回りました。海外化粧品事業においては、成長を継続している中国を中心とするアジアが堅調に推移しましたが、景気減退の影響が著しいアメリカ、欧州の売上が減少したうえ、円高進行による目減りも大きく、事業全体の売上高は前年同四半期を大幅に下回りました。

営業利益は、売上減に伴う差益の減少が大きく影響し、前年同四半期に比べ82.8%減益の2,108百万円となりました。経常利益は前年同四半期に比べ78.5%減益の3,030百万円となりました。

なお、国内子会社での減損損失などを特別損失に計上しましたが、一方で税負担は軽減されました。この結果、当第1四半期の純利益は前年同四半期に比べ57.8%減益の4,323百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

前期末に比べ総資産は24,333百万円減少した一方、純資産の減少は3,778百万円にとどまりました。この結果、自己資本比率は前期末における55.6%から57.0%になりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が126百万円と少額であったため、467百万円の収入に止まりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に既存設備の維持・更新のための設備投資があり12,677百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金9,427百万円の支払や、自己株式取得6,788百万円などにより、14,363百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は前期末に比べ25,993百万円減少し、65,863百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における実績などを鑑み、前回予想(平成21年4月30日発表)より第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を変更しています。

第2四半期連結累計期間については、連結売上高は315,000百万円(前回予想320,000百万円)、営業利益は20,000百万円(前回予想22,000百万円)、経常利益は21,000百万円(前回予想22,000百万円)、第2四半期累計の純利益は14,000百万円(前回予想15,500百万円)としています。

通期については、連結売上高および営業利益は前回予想から変更していませんが、経常利益は51,000百万円(前回予想50,000百万円)、当期純利益は30,000百万円(前回予想31,000百万円)としています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、たな卸資産の簿価切下げにあたっては、収益性の低下が明らかな、たな卸資産についてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,902	57,411
受取手形及び売掛金	84,215	102,019
有価証券	32,452	47,343
たな卸資産	74,315	68,330
繰延税金資産	27,853	26,228
その他	18,726	16,696
貸倒引当金	△1,039	△1,034
流動資産合計	291,427	316,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	160,943	161,018
減価償却累計額	△94,413	△92,670
建物及び構築物（純額）	66,529	68,348
機械装置及び運搬具	83,271	81,888
減価償却累計額	△71,643	△70,287
機械装置及び運搬具（純額）	11,628	11,601
工具、器具及び備品	48,592	47,002
減価償却累計額	△34,646	△33,333
工具、器具及び備品（純額）	13,946	13,668
土地	37,725	38,184
リース資産	10,519	10,839
減価償却累計額	△4,829	△5,545
リース資産（純額）	5,689	5,294
建設仮勘定	2,227	1,136
有形固定資産合計	137,746	138,232
無形固定資産		
のれん	13,151	12,197
リース資産	259	208
その他	23,399	22,999
無形固定資産合計	36,810	35,405
投資その他の資産		
投資有価証券	36,368	33,929
前払年金費用	32,955	34,359
長期前払費用	10,029	11,313
繰延税金資産	12,691	12,092
その他	24,416	24,466
貸倒引当金	△210	△227
投資その他の資産合計	116,250	115,934
固定資産合計	290,807	289,572
資産合計	582,235	606,568

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,240	52,713
短期借入金	5,932	3,709
コマーシャル・ペーパー	1,866	819
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	800	800
リース債務	2,331	2,273
未払金	40,796	47,005
未払法人税等	4,041	5,306
返品調整引当金	9,691	11,061
賞与引当金	3,097	9,563
役員賞与引当金	147	119
危険費用引当金	809	633
繰延税金負債	4	8
その他	18,247	20,082
流動負債合計	154,006	174,097
固定負債		
長期借入金	31,545	31,110
リース債務	3,711	3,340
退職給付引当金	39,105	39,271
債務保証損失引当金	350	350
繰延税金負債	2,707	3,821
その他	2,636	2,625
固定負債合計	80,056	80,519
負債合計	234,062	254,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,506	64,506
資本剰余金	70,258	70,258
利益剰余金	239,825	245,544
自己株式	△23,604	△16,839
株主資本合計	350,985	363,469
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,801	353
為替換算調整勘定	△20,839	△26,599
評価・換算差額等合計	△19,038	△26,245
新株予約権	279	255
少数株主持分	15,946	14,471
純資産合計	348,172	351,951
負債純資産合計	582,235	606,568

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	164,107	139,686
売上原価	37,894	33,375
売上総利益	126,213	106,311
販売費及び一般管理費	113,984	104,202
営業利益	12,229	2,108
営業外収益		
受取利息	572	277
受取配当金	584	567
持分法による投資利益	9	7
為替差益	924	106
その他	616	669
営業外収益合計	2,707	1,627
営業外費用		
支払利息	541	364
売上割引	112	79
その他	213	262
営業外費用合計	867	706
経常利益	14,069	3,030
特別利益		
固定資産売却益	93	34
投資有価証券売却益	—	30
特別利益合計	93	65
特別損失		
減損損失	266	2,766
固定資産処分損	131	161
投資有価証券評価損	9	17
出資金評価損	14	—
構造改革費用	158	—
リース会計基準の適用に伴う影響額	215	—
リース解約損	3	24
特別損失合計	800	2,969
税金等調整前四半期純利益	13,362	126
法人税、住民税及び事業税	5,499	△644
法人税等調整額	△3,389	△4,287
法人税等合計	2,109	△4,932
少数株主利益	997	735
四半期純利益	10,255	4,323

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,362	126
減価償却費	7,242	6,375
のれん償却額	400	242
減損損失	266	2,766
固定資産処分損益 (△は益)	37	126
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△30
投資有価証券評価損益 (△は益)	9	17
出資金評価損	14	—
構造改革費用	158	—
リース会計基準の適用に伴う影響額	215	—
リース解約損	3	24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△236	△48
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1,300	△1,469
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,566	△6,530
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51	27
危険費用引当金の増減額 (△は減少)	△6	165
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	272	△231
前払年金費用の増減額 (△は増加)	215	1,404
受取利息及び受取配当金	△1,156	△844
支払利息	541	364
持分法による投資損益 (△は益)	△9	△7
売上債権の増減額 (△は増加)	13,013	19,796
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,400	△3,786
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,091	△13,400
その他	△3,934	△1,998
小計	8,002	3,089
利息及び配当金の受取額	1,166	889
利息の支払額	△386	△266
法人税等の支払額	△5,042	△3,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,740	467

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,010	△14,511
定期預金の払戻による収入	10	7,680
有価証券の取得による支出	△442	△636
有価証券の売却による収入	—	159
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	3,045	70
有形固定資産の取得による支出	△4,982	△3,903
有形固定資産の売却による収入	79	4
無形固定資産の取得による支出	△994	△825
長期前払費用の取得による支出	△715	△792
その他	523	81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,490	△12,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	879	1,826
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	2,632	936
長期借入れによる収入	2,105	—
社債の償還による支出	△6,317	—
リース債務の返済による支出	△934	△743
自己株式の取得による支出	△109	△6,788
自己株式の処分による収入	207	17
配当金の支払額	△6,459	△9,427
少数株主への配当金の支払額	△601	△206
その他	20	23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,577	△14,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,392	579
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,720	△25,993
現金及び現金同等物の期首残高	120,393	91,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	105,673	65,863

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	国内化粧品事業 (百万円)	海外化粧品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	96,172	63,213	4,721	164,107	—	164,107
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,187	565	3,565	5,318	(5,318)	—
計	97,359	63,779	8,287	169,426	(5,318)	164,107
営業利益	6,613	4,946	580	12,140	89	12,229

(注) 1 事業区分は、内部組織管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主な事業の内容

(国内化粧品事業)：化粧品事業(化粧品、化粧用具、トイレットリー製品の製造・販売)

プロフェッショナル事業(理・美容製品の製造・販売等)

ヘルスケア事業(美容食品、一般用医薬品の製造・販売)

その他(国内アウトオブ資生堂、通販化粧品の製造・販売等)

(海外化粧品事業)：化粧品事業(化粧品、化粧用具、トイレットリー製品の製造・販売)

プロフェッショナル事業(理・美容製品の製造・販売等)

(その他の事業)：フロンティアサイエンス事業(化粧品原料、医療用医薬品、美容医療用化粧品等の製造・販売)

その他(衣料品、服飾雑貨等の販売、飲食業、不動産の賃貸等)

3 当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」を適用しております。この変更に伴い、従来の方法に比較して、当第1四半期連結会計期間の営業利益は、海外化粧品事業において266百万円減少しております。

4 当第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」を適用しております。この変更に伴い、従来の方法に比較して、当第1四半期連結会計期間の営業利益は、国内化粧品事業において56百万円増加、海外化粧品事業において17百万円増加及びその他の事業において3百万円増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	国内化粧品 事業 (百万円)	海外化粧品 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	90,429	46,860	2,396	139,686	—	139,686
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	489	313	1,467	2,270	(2,270)	—
計	90,919	47,174	3,863	141,956	(2,270)	139,686
営業利益又は営業損失(△)	4,107	△2,425	399	2,080	27	2,108

(注) 1 事業区分は、内部組織管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主な事業の内容

(国内化粧品事業)：化粧品事業(化粧品、化粧用具、トイレットリー製品の製造・販売)

プロフェッショナル事業(理・美容製品の製造・販売等)

ヘルスケア事業(美容食品、一般用医薬品の製造・販売)

その他(国内アウトオブ資生堂、通販化粧品の製造・販売等)

(海外化粧品事業)：化粧品事業(化粧品、化粧用具、トイレットリー製品の製造・販売)

プロフェッショナル事業(理・美容製品の製造・販売等)

(その他の事業)：フロンティアサイエンス事業(化粧品原料、医療用医薬品、美容医療用化粧品等の製造・販売)

その他(飲食業等)

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	101,041	12,667	28,287	22,111	164,107	—	164,107
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,511	2,182	1,567	18	10,278	(10,278)	—
計	107,552	14,849	29,854	22,129	174,386	(10,278)	164,107
営業利益	3,677	682	4,204	2,525	11,090	1,139	12,229

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アメリカ : 米国、カナダ、ブラジル

(2) 欧州 : フランス、イタリア、ドイツ、スペイン

(3) アジア・オセアニア : 中国(香港含む)、台湾、韓国、東南アジア、オーストラリア

3 当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当
面の取扱い」を適用しております。この変更に伴い、従来の方法に比較して、当第1四半期連
結会計期間の営業利益は、アメリカにおいて188百万円減少、アジア・オセアニアにおいて78
百万円減少しております。

4 当第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」及び「リース取引に関する会
計基準の適用指針」を適用しております。この変更に伴い、従来の方法に比較して、当第1四
半期連結会計期間の営業利益は、日本において76百万円増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	92,905	9,637	17,949	19,194	139,686	—	139,686
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,023	1,868	1,329	5	9,228	(9,228)	—
計	98,929	11,506	19,278	19,200	148,914	(9,228)	139,686
営業利益又は営業損失(△)	575	△97	995	184	1,658	450	2,108

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アメリカ : 米国、カナダ、ブラジル

(2) 欧州 : フランス、イタリア、ドイツ、スペイン

(3) アジア・オセアニア : 中国(香港含む)、台湾、韓国、東南アジア、オーストラリア

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	アメリカ	欧州	アジア・オセアニア	計
I 海外売上高(百万円)	13,853	24,594	24,980	63,429
II 連結売上高(百万円)				164,107
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.5	15.0	15.2	38.7

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	アメリカ	欧州	アジア・オセアニア	計
I 海外売上高(百万円)	10,210	15,890	20,886	46,988
II 連結売上高(百万円)				139,686
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	7.3	11.4	14.9	33.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アメリカ : 米国、カナダ、ブラジル

(2) 欧州 : フランス、イタリア、ドイツ、スペイン

(3) アジア・オセアニア : 中国(香港含む)、台湾、韓国、東南アジア、オーストラリア

3 海外売上高は、当社及び日本に所在する連結子会社の輸出高並びに日本以外の国に所在する連結子会社の日本以外に対する売上高の合計額であります。ただし、連結会社間の内部売上高は除いております。

(6) 株主資本の金額の著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年4月30日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、平成21年5月12日付で自己株式の取得を行い、自己株式が6,752百万円増加しました。主にこの影響により、当第1四半期連結会計期間末において自己株式は23,604百万円になっております。

以上